

主催：みらい塾はじめ豆デザイン俱楽部



三つの小路に看板を設置（敬覚寺（きょうかくじ）小路、米松小路、又兵衛小路）

過去・現在・未来をみつめて、新しい発見！

信濃川と小阿賀野川が交わる地、新潟市江南区酒屋町。かつて、舟運の川湊として、とても栄えた。『両川郷土読本』に書かれてるが、酒屋は「酒屋町」と呼ばれてきたように、船着場を中心に市を開き、近郷から人々を集めの町場になる。船着場あるいは荷揚場の近くの土手町には旅人宿や料理屋など筏師や船頭相手の華やかな町ができた（両川郷土読本より抜粋）。小路や脇道のひとつひとつに名前が付けられているのも繁栄の証、なつかしい『郵便ポスト』と一緒に、古くて新しい酒屋町を散策してほしいと思い、地図を含むチラシを作成した。また、酒屋の商店街の江戸・明治期の小道の名称の看板を設置した。配布した地図には、敢えてお店やアート作品などは書かず、歩いていただき、発見したことを地図に書き込んでいただくようにした。歴史（過去）を感じていただき、今（現在）の様子も見ていただき、これから（未来）についても考えていただけ

たと思う。酒屋町を歩いた方には、この機会にご自身のお住まいの地域についても考えていただくきっかけにしてほしいという狙いもあった。

「地味だけど路地名の看板などが良いね」など両川歴史路地巡りに訪れた方から感想をお聞きすることもできた。地図（チラシ）は、酒屋町のお店の方々にご協力いただき置いていただいた。当初はチラシを置く以外のことはできないと言われたが、終了後、お礼に向うと「おかげであまり話さない人とも話が出来た」「（自分も）興味をもって歩いてみたよ」などの感想をいただいた。地域の方にも大変お世話になり、イベント終了後もオブジェを引き取り利用して下さったり、地図をそのまま掲示し続けてくださったりと新たに地域の方の人柄を感じる事ができた。

●7月15日(日)～9月22日(土) 両川歴史路地めぐり（酒屋町商店街）